

名古屋芸術大学オーケストラ 第35回定期演奏会

2017.11.05 SUN

15:00開演 14:15開場

入場料／一般500円・大学生以下無料（要学生証）
全自由席

豊田市コンサートホール

愛知県豊田市西町1丁目200番地 豊田参合館10階



J.シベリウス／交響詩「フィンランディア」op.26

R.シュトラウス／二重コンチェルティーノ
クラリネット：竹内雅一 ファゴット：依田嘉明

A.ドヴォルザーク／交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」op.95



指揮：高谷 光信（本学非常勤講師）



photo : Masaaki Umeda

クラリネット
竹内 雅一
本学教授



ファゴット
依田 嘉明
本学教授

■チケットお取扱い場所（大学生以下の方は学生証が必要です）

名古屋芸術大学 演奏課 Tel.0568-24-5141
愛知芸術文化センター B2F プレイガイド Tel.052-972-0430
カワイ名古屋 Tel.052-962-3939

主 催 | 名古屋芸術大学
後 援 | 名古屋芸術大学音楽学部同窓会
北名古屋市／北名古屋市教育委員会

お問い合わせ | 名古屋芸術大学 演奏課 Tel. 0568-24-5141
〒481-8503 愛知県北名古屋市熊之庄古井 281





指揮 高谷 光信（本学非常勤講師）

京都市立堀川高等学校音楽科（現・京都堀川音楽高等学校）を経て大阪音楽大学音楽学部器楽学科卒業、キエフ国立チャイコフスキー音楽院指揮科首席卒業。また国家演奏家資格、ディプロマを最優秀の成績で取得。指揮を小松一彦、伊吹新一、田中良和、藏野雅彦、辻井清幸、V. プラソロフ、E. ドゥーシェンコ、N. スーカッチに師事する。

2003年、キエフ国立チャイコフスキー音楽院卒業時、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団に客演指揮者として招かれ、ウクライナにてプロデビューを果たす。首席客演指揮者（2003～2006）第2指揮者（2006～2012）常任指揮者（2012.7～）現在も定期演奏会・国際音楽祭・国際マスターコースなどで共演を続けている。

同楽団の招致により『ホロヴィッツ国際ピアノマスタークラス』『シベリア国際音楽祭』『ウクライナ国際音楽祭・キエフ夏の音楽の夕べ』またウクライナを代表する国際音楽祭である『バルトケーヴィッチ国際音楽祭』などに出演し、「高い音楽性でソリストを支え音楽祭を成功に導いた。」(KievPost)と高く評される。また2010年より『ウクライナ国際マスタークラス指揮・ヴァイオリン・ピアノ部門』の講師・審査員・指揮者を務める。また世界中の若きソリストと共演する模様は全国放送されている。

2017年3月在ウクライナ日本大使館後援事業～ウクライナ日本国交25周年「ウクライナにおける日本年」～角大使御臨席のもと「ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団特別演奏会」（2017.3.18/3.20）に指揮者として出演する。また日本から「アンサンブルつるみ合唱团」や日本人ソリストも出演しTV・新聞にて大きな話題として報じられた。

現在までに東京混声合唱団、Osaka Shion Wind Orchestra（旧大阪市音楽団）、大阪交響楽団、兵庫芸術センター管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、名古屋演奏家ソサエティ、テレマン室内オーケストラ、瀬戸フィルハーモニー交響楽団、東京室内オーケストラ、愛知室内オーケストラ、エウフォニカ管弦楽団、神戸市室内合奏団、ナゴヤディレクターズバンド、プラスパラダイス大阪、キエフ音楽院管弦楽団などを指揮。

ヴァイオリニストのE・ケシャーエバ、豊嶋泰嗣、沼田園子、ピアニストの近藤嘉宏、江口玲、塩見亮、崔理英、池本三太、A・イエーメッツ、D・オニシチェンコ、テノール歌手の秋川雅史、田原祥一郎、松本薫平、竹内直紀、小餅谷哲男、バリトン田中勉、ウズベキスタン音楽集団『SHOD』など国内外の著名な演奏家と多数共演。《題名のない音楽会》(Osaka Shion Wind Orchestra 2015年11月23日放送)にTV出演。

歌劇においては「魔笛」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「ヘンゼルとグレーテル」「ラ・ボエーム」「こうもり」「カルメン」「弁慶・八岐の大蛇・箱入り女房」を指揮。

大阪芸術大学演奏学科客員准教授、名古屋芸術大学・同大学院非常勤講師、武庫川女子大学音楽学部非常勤講師、京都市立芸術大学音楽学部音楽教育研究会非常勤講師、みやこオペラ京都合唱団指揮者・代表ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団常任指揮者

第16回京都芸術祭京都市長賞受賞。

2012年7月ウクライナチェルニーゴフ州文化功労賞受賞。

photo : Masaaki Umeda



**クラリネット
竹内 雅一
本学教授**

名古屋芸術大学音楽学部器楽科卒業。クラリネットを小松孝文、山田喜代一、千葉国夫の各氏に師事。フランス・ニース夏期国際アカデミーにてジャック・ランズロ、ワルター・ボイケンスの両氏に師事。ベルギー・アントワープ王立音楽院に留学。スベリアルコースにてワルター・ボイケンス氏に師事すると同時に同氏のクラリネットクワイヤーのメンバーとしてコンサート、レコーディング等に参加。フリー・インプロヴィゼイションをフレッド・ファン・ホーベ氏に師事。

セントラル愛知交響楽団、韓国マサンフィルハーモニーオーケストラ、ウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団等との協奏曲の共演をはじめ、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどで活発な演奏活動、ワークショップ、マスタークラスなどを行う。2007年には、元ザ・スパイダースの井上堯之氏、ピアニストの松永祐未子氏と共に“Feelingly”をリリース。

指揮活動においては、名古屋市消防音楽隊を始め、数多くのオーケストラや吹奏楽団で客演指揮や指導を精力的に行っており、名古屋芸術大学ウィンドオーケストラの指揮者として国内はもとより、アメリカ、オーストラリア、韓国、ベルギー、アイルランド、オーストラリア等海外での公演を行なっている。また、2016年10月には、大阪で行われた日本・ベルギー友好150周年記念“ベルギー文化の祭典”において、ベルギー国王夫妻御臨席のもと、同国を代表するジャズピアニスト、ジェフ・ニーヴ氏らと共演し御前演奏を行った。オランダのデハスケ・レーベル（Hal Leonard MGB）より名古屋芸術大学ウィンドオーケストラを指揮したCDがこれまでに10枚以上リリースされている。その他、横浜国際音楽コンクール、大阪国際音楽コンクール等の審査員も務めている。元セントラル愛知交響楽団契約団員。

現在、名古屋芸術大学大学院音楽研究科・芸術学部教授、クラリネット協会・名古屋理事長、高山市民吹奏楽団音楽監督、岡崎音楽家協会会員、フランス音楽研究会会員、日本室内楽アカデミー会員、株式会社ジュッフェ・クランボン・ジャパン特別嘱託講師。



**ファゴット
依田 嘉明
本学教授**

1988年武蔵野音楽大学を卒業し大学院に進学。1990年同大学院修了。その年に行われた宝塚ベガ音楽コンクール室内楽部門第2位。同年8月渡蘭。オランダ・スウェーリンク音楽院に学ぶ。

在学中ネーデルランド・ダブルリードアンサンブルのメンバーとしてヨーロッパ各地で公演。1992年帰国。1998～2002年までセントラル愛知交響楽団に首席奏者として在籍。2002年より名古屋芸術大学専任講師となる。

現在は名古屋芸術大学・大学院教授及び三重県立白子高校吹奏楽コース非常勤講師として、後進の指導にあたっている。演奏活動においては、ソリストとして、2013年セントラル愛知交響楽団とモーツァルトの協奏交響曲、2014年と2016年にウクライナ・チェルニーゴフフィルハーモニー交響楽団とR・シュトラウスの二重小協奏曲、ヴィヴァルディのファゴット協奏曲、2015年北名古屋シティ管弦楽団とウェーバーのファゴット協奏曲の演奏を行った。

その他オーケストラの客演奏者や室内楽、また岐阜県交響楽団や大垣室内管弦楽団等のトレーナーなど、幅広く活躍中。これまでにファゴットを谷島卓、岡崎耕治、山畑馨、ローランド・スモール、ジョン・モスタード、またアフィニス夏の音楽祭にてフォスカー・テスマンの各氏に師事。